

意見交換会実施報告書

開催日時	平成25年11月8日 午後7時00分～午後9時00分
開催場所	大町公民館分室 学習室
出席議員	堀 堅一（責任者） 高橋 正（司会） 松島 吉子（報告者） 大厩 富義（報告者） 荒澤 靖（報告者） 大和 幸久（記録者）
参加市民数	6人
議会報告内容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度決算について ・昨年いただいた、ご意見・ご要望の検討状況について ・議員定数等について
意見交換内容 (要望提言等)	<p>市職員の人事評価制度について</p> <p>○発言1 平成27年度に完全実施としている市職員の人事評価制度が効果的に機能するには時間を要するため、進行管理等に配慮し、積極的に推進されることを望む。</p> <p>★回答1 人事評価制度の進捗状況等については、議会の立場からも確認していきたい。</p> <p>まちを元気にする施策について</p> <p>○発言2 地域の経済状況がきびしい中、まちを元気にする施策が必要であり、市の支援には明確な目的がなければならない。例えば観光に関するランドデザインがあって、観光施策が展開されるべきであり、また、中心市街地の活性化にしても、中心市街地の定義、後継者不足、取り組みの自主性などに課題があるがどう考えるか。</p> <p>★回答2 観光は市の主要産業であり、議会では観光対策特別委員会を設置し調査、研究、提言を行っている。観光協会を一般社団法人に移行する予定だが、メリハリのある予算化や戦略的な施策・人材育成の重要性などを提言している。豊かな自然をはじめ身近な資源を活かす施策や新たな資源を見出していく必要がある。また、再訪してもらうにはおもてなしの心、斬新なアイデア、人と人の関係は重要な要素である。</p> <p>中心市街地の施策については、民間の方、頑張っている方に光が当たる施策が望ましい。それらをけん引するキーマンの存在が不可欠と考える。</p> <p>議員もまちを元気にするための活動はそれぞれ行っているが、思うように進まない要因として、地域の景気動向とともに人口減少という大きな課題もあると考える。</p>

	<p>大町病院について</p> <p>○発言 3 議会でも再三話題となっているが、なぜ、医師が来てくれないのか。市民の生命・健康を守るための病院として、良い方向に進んでいるのか。</p> <p>★回答 3 議会内にも多様な意見はあるが、大町病院は地域医療を担う核となる病院として存続すべきと考えている。全国的に医師不足は深刻であり、医師の人事等には様々な課題もある。大町病院では医師確保のため、招聘活動や独自の制度を充実させるなど地道な努力も続けていることをご理解願いたい。</p> <p>議員定数について</p> <p>○発言 4 議員定数削減となれば自治会等の役割がますます重要となる。2名削減することでどんな影響があるか。</p> <p>★回答 4 自治会では行政連絡など多くの協力をいただき感謝するとともに、役員不足などの課題が多いことは承知している。 議員定数については、人口減少などを背景に市民からの削減の声なども受け、真摯に検討してきた。他の議会などを調査研究する中で、2名減、定数16人とし、合わせて委員会構成を見直した。極力影響が出ないように今後も十分な議論を尽くすとともに、意見交換会などを通じて市民の負託にこたえるよう努力していく。</p>
<p>その他 特記事項</p>	

平成25年12月24日

政策調整委員会委員長 様

上記意見交換会責任者 堀 堅 一 ㊟